

「第1回 VERSANT 就活チャレンジ」最新レポート

平均スコアは44点、日本人平均を6点上回る！
TOEIC申告スコア平均は763点！
VERSANTで「本当に話せる」英語力を証明！

2018年12月26日
株式会社 日本経済新聞社

日本経済新聞社ではピアソンジャパン、就職支援大手でVERSANTの代理店である株式会社ディスコとともに実施している「VERSANT 就活チャレンジ」の第1次集計レポートをまとめました。

就活チャレンジは2020年春の入社を予定する大学生1万人にVERSANTを無料で受験してもらい「本当に話せる英語力」をアピールしてもらうためです。11月17日に東京江東区のビッグサイトで開かれたディスコ社のイベント会場では1日で300人近い応募があり、大学生の皆さんには随時受験していただいております。

12月中旬段階ですでに200人程度の学生の方が受験されており、そこでの平均スコアは日本人平均を6点近く上回る43.6点でした。

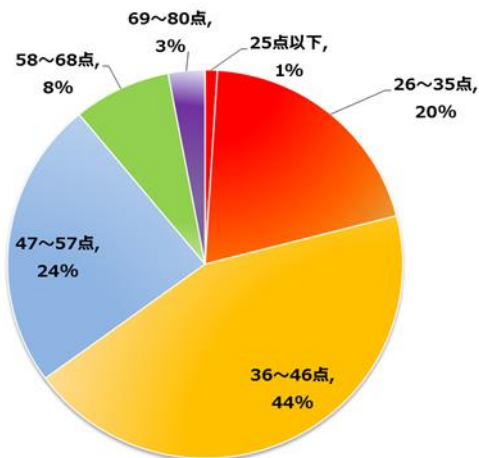
日本経済新聞社、ピアソン社、ディスコ社の3社は日本企業が世界で一段と飛躍していくためには最大の弱点とされてきた英語コミュニケーション力を抜本的に高めていくことが重要だと考えています。これまでは社内の英語研修の効果測定が主な利用目的でしたが、最近では新卒採用でVERSANTを活用されるケースが急速に増えています。

この意味で、今回は全国の大学生の皆様無料で受験していただき、英語スピーキング力の大切さを改めて認識してもらう意義は大きいのではないのでしょうか。企業の皆様にも就活チャレンジの様々なレポートを提供し、採用活動で参考にしてもらいたいと考えています。

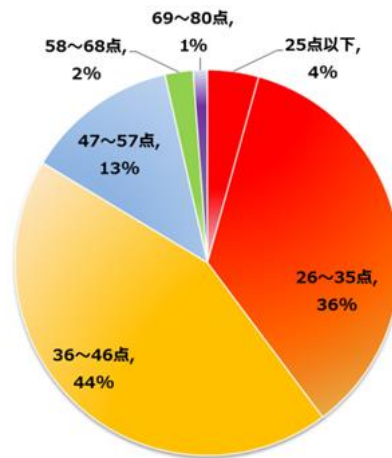
最新結果のポイント

- ・受験者の**VERSANTスコア平均は44点**
⇒日本人平均（38点）を6点も上回る高水準を記録
- ・受験者の**TOEIC申告スコア**の平均は**763点**
- ・「**海外赴任の目安**」である47点以上が全体の**35%**
- ・「**ネイティブと交渉**」できる60点以上が全体の**10%**

「就活チャレンジ」スコア分布



「企業モニター受験」スコア分布



「海外赴任の目安」の47点以上が全体の35%
 (「企業モニター受験」では全体の16%)

高得点者リスト

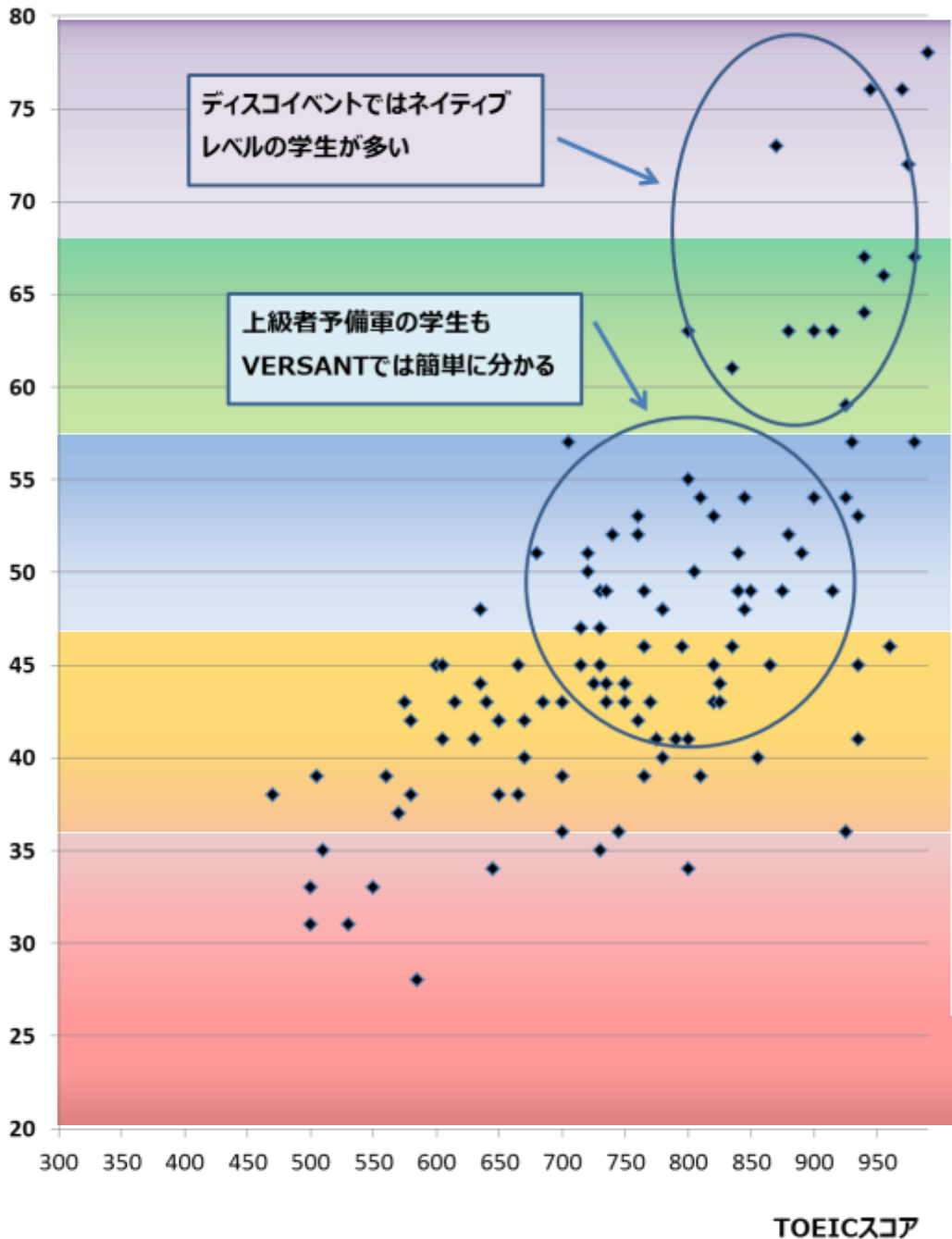
	大学名	学部名	VERSANT 総合スコア	TOEIC スコア
1	上智	国際教養	78	990
2	同志社	文化情報	76	945
3	西オーストラリア大学(豪州)	経済	76	970
4	東洋	文	73	870
5	東京外国語	国際社会	72	975
6	法政	グローバル教養	67	
6	早稲田	国際教養	67	940
6	早稲田	政治経済	67	980
9	上智	外国語	66	955
10	早稲田	国際教養	64	940
11	国際基督教	教養	63	800
11	明治	法	63	880
11	成城	社会イノベーション	63	900
11	早稲田	政治経済	63	915
15	早稲田	文化構想	62	
16	専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ	国際情報	61	835
17	慶應義塾	総合政策	59	925
18	ウイスコンシン大学 (ウイスコンシン州)	コミュニケーション	58	
19	専修	文	57	705
19	宇都宮	国際	57	930
19	東京大学 (院)	総合文化研究科	57	980

最高スコアはVERSANT78点、TOEIC990点

高得点者はいずれも入社後即戦力として活躍できる才能を秘めた人材です

VERSANTとTOEICのスコア相関

VERSANT総合スコア



TOEIC800点台・900点台でもVERSANTスコアにはバラつきが
ビジネスの現場で必要なスピーキング力を測定するならVERSANT

「VERSANT 就活チャレンジ」 大好評実施中

2019年も実施いたします。詳細は下記をご確認ください。

https://www.versant.jp/campaign/201811/_pdf/campaign201811.pdf